

．事業の背景

増加する外国人登録者（大阪府：外国人登録者約 21 万 * 2004 年末現在）に伴い、学校教育では、これらの多様な文化背景を持つ子どもたちへの対応が大きな課題となっている。高校では特別枠のある高校など以外では、入学後の十分なサポート体制が整っていない。授業の内容を理解するための日本語力の不足、文化的な違いから、学校生活全般において戸惑いなどの問題があり、中退することが日本人の生徒に比べてかなり多い。教員の加配や人材バンク制度を活用しているが、母語の多様化に加え、生徒の日本語力も異なっているため、個々の生徒に対応した柔軟なサポートができていないのが現状である。

．事業の目的

帰国・渡日の生徒が、高校に入学した後、それぞれの希望する進路に安心して進んでいけるように、学習支援、並びに日本語教育支援を中心に学校生活をサポートしていこうと、国際交流・国際協力団体の連合体である（特活）関西国際交流団体協議会に事業委託し、「日本語教育学校支援事業」を展開することとした。

．事業の内容

1. 「研究会」の設置

多様な文化背景を持つ生徒の高校生活での現状の把握、課題の抽出、情報の共有化
プログラムの開発や教材の開発、事業の方向性やあり方の検討

2. 「予備教育センター（仮）」の設置

高校入学前後と夏休み期間を利用しての、生徒への教科支援、日本語教育支援、日本
および地域文化、習慣に関するオリエンテーション、進路ガイダンスや交流会の開催

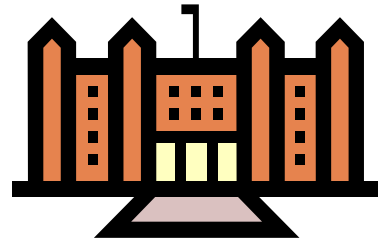
3. 「教育サポーター」の募集と育成、派遣

教員、生徒の状況、保護者の状況や課題を把握した上で、予備教育センターや各学校
において、生徒と保護者の母語を用いて教員と生徒、保護者の間のコミュニケーションをつなぎ、生徒の学習支援、日本語指導、悩み相談を行う。

4. 「リソースセンター」の開設

各種情報を集約し、帰国・渡日の生徒の担任教員、日本語指導が必要な帰国・渡日の
生徒を担当する教員や、教育サポーターが、サポートに必要な適切な情報、資料
を得られ、相談ができる場所を piaN P O 2 階（大阪市港区築港 2-8-24）に設置する。
また「日本語教育担当者向け研修会」を企画、実施する。

日本語教育学校支援事業



大学
研究機関



情報資源

プログラム研究・開発

研究開発連絡協議会

学識経験者、NPO関係者、
大学関係者による研究開発

各種支援プログラムの開発

学習言語習得プログラム
適応指導プログラム
学習指導プログラム

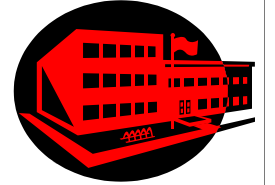
学習教材情報

日本語指導教材情報の集約化

資料の収集
資料のデータベース化
教材翻訳

学習教材情報の集約化

資料の収集
資料のデータベース化
教材翻訳



国際関係部局
地域国際協会
NPO

日本語指導教員研修講座

日本語指導のスキルを有する教員

日本語指導に必要な生徒の生活背景、学習歴、日本語能力などの実態と発達段階を考慮した学校、家庭での指導などサポート体制をコーディネートする教員の養成を図る

言語学の専門家から研修
学校における指導方法を協議

入学準備プログラム

日本語教育集中講座

日本語指導に必要な生徒が安心して高校生活を送れることをねらいとして、短期間に集中し日本語・教科指導を府内2カ所で実施する。

日本語支援
教科支援・補習
日本の地域文化、習慣に関する情報
進路ガイダンス・交流会等

教育サポーター登録・派遣

母語別の教育サポーター

単なる通訳ボランティアではなく、学校の制度や教育内容に精通した通訳ボランティアで日本語指導に必要な児童・生徒の支援をする。

指導技術研修

学習プログラムの実践
在籍生徒への母語指導
教員に対するコンサルティング
生徒、保護者、教員の相談
地域ネットワーク事業やプログラム活用についての助言
中国帰国及び外国人生徒受入府立高校に重点配置

学校支援リソースセンター



人材資源



府立学校

